

教育行政報告

最近の教育行政について報告いたします。

○ 最近の学校の様子について

市内の小・中学校では、この2学期も、引き続き感染予防対策に取り組みながら、教育活動の充実に努めて参りました。9月下旬から実施された教育委員学校訪問では、1人1台端末を活用した効果的な学習が多く見られ、意欲的に学ぶ児童生徒の姿が印象的でした。修学旅行や学校祭などの学校行事も、児童生徒の主体性を生かしながら取り組み、成就感を味わうことができました。

また、昨年度に引き続き、秋田大学と連携し、中学校3年生を対象にした「学習講演会」を実施いたしました。各中学校出身の秋田大学生が、夢や目標を実現させるためにどんな努力をしたのかを語り、受験を控えた3年生のよい刺激となりました。

さらに今年度は、秋田県が進めてきた「地域連携安全・安心推進事業」に、モデル校として、象潟小学校と象潟中学校が取り組んでいます。

様々なケースを想定した避難訓練、防災や安全に関する研修、外部講師を招いた講演会等を開催しております。また、両校は学校祭や学習発表会に学校運営協議会等の住民の方を招き、学習成果を発表し、地域の皆様とともに、防災の意識を更に高めていこうと努めているところです。

○ 児童生徒による各種大会等の結果について

9月に開催された本荘由利中学校秋季大会において、仁賀保中学校野球部と金浦中学校男子柔道55kg級選手、同じく81kg級選手が優勝しております。

また、税務署が主催する中学生の「税についての作文」では、金浦中学校3年生の生徒が『支え合う社会』という題で、東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞しております。

○ 学校環境適正化検討委員会の開催について

10月20日に第1回学校環境適正化検討委員会を開催し、委員30人に対し委嘱状を交付しました。

会議では市内小中学校の現状について説明した後、専修大学経営学部 特任教授 見山謙一郎先生より「想像から創造へ」と題し講話していただき、今後の話し合いを進める上での考え方やヒントをいただきました。

第2回目の開催は、12月を予定しており、本格的に学校適正化の検討を行って参ります。

○ 市民文化祭について

音楽、芸能などの発表部門を、10月22日と23日に仁賀保勤労青少年ホームで開催し、2日間の観覧者数は延べ360人となりました。また昨年度に引き続きユーチューブによるライブ配信も行っております。

展示部門は10月28日から30日まで、3公民館で開催し、各種文化芸術団体や市内の保育園、小・中学校、仁賀保高校の作品展などを行いました。3日間の来館者数は延べ3,194人となっております。

また、今年度は、新たな企画として参加型交流イベント「仁賀保高校eスポーツ部見学会」と「わくばにかほ見学会」を行い、参加者から大変好評を得ました。

○ 二十歳を祝う会について

成人年齢の引き下げに伴い、これまでの「成人式」の名称を「にかほ市二十歳（はたち）を祝う会」に変更して開催いたします。

対象者は今年度21歳を迎える方で、令和5年1月8日に、ホテルエクセルキクスイを会場に実施することとしております。

○ 仁賀保勤労青少年ホーム館内エレベーター改修工事について

設備の老朽化に伴い、12月5日から来年2月28日まで、仁賀保勤労青少年ホーム館内のエレベーターの改修工事を予定しております。

工事期間中は通常どおり開館しますが、工事内容により休館する場合は広報、

ホームページ、館内掲示等で早めに周知して参ります。

○ 池田修三木版画展 まちびと美術館「ねがい」について

10月28日から11月10日までの14日間、象潟公会堂を主会場として公共施設や店舗等に池田修三作品を展示し、まちを巡りながら作品を鑑賞するまちびと美術館を3年ぶりに開催し、公会堂には延べ677人が訪れております。

また、まちびと美術館の開催時期に合わせて、オリジナルフレーム切手「にかほ市の宝もの 池田修三木版画第4集 ふるさと秋田」の発売を開始しております。

○ にかほ市発明工夫・未来の科学の夢絵画展について

児童の創意工夫や科学に対する関心を高めることを目的に、令和4年度にかほ市発明工夫・未来の科学の夢絵画展を開催しました。

出展数は、発明工夫展が74点、夢絵画展が402点となりました。その中から特に優れた作品として、発明工夫の12点を秋田県発明展に、夢絵画の30点を全国未来の科学の夢絵画展に出品いたしました。

そのうち、第71回秋田県発明展 児童生徒の部において、平沢小学校四年生 松野 結華(まつの ゆいか)さんの鉛筆とビーズを使った作品「点字キット」が、秋田魁新報社賞を受賞しました。また金浦小学校4年生 佐藤 心十葉(さとう ことは)さんの牛乳パックを使った作品「牛乳パックアコーディオン」が、齋藤憲三・山崎貞一奨励賞を受賞しました。それぞれ第81回全日本学生児童発明くふう展に出品されます。

その他、平沢小学校三年生 佐藤 旬之丞(さとう しゅんのすけ)さん、平沢小学校六年生 大井 栞織(おおい しおり)さん、平沢小学校六年生 生出 章歩(おいで あやと)さんが秋田県発明協会優秀賞、また、院内小学校二年生 佐藤 善(さとう ぜん)さんが秋田県発明協会奨励賞を受賞しております。

なお、第71回秋田県発明展並びに第81回全国未来の科学の夢絵画展に出品された授賞作品の複製が12月28日(水)まで、フェライト子ども科学館で展示されます。

○ 白瀬南極探検隊記念館の企画展について

11月8日から来年3月12日まで、大隈重信没後100年企画展「大隈重信と南極探検後援会」を開催しております。

白瀬矗の発案した日本人初の南極探検の、難しい局面をまとめあげた大隈重信と南極探検後援会の幹部の方々をご紹介します展示となっております。

○ 「海上自衛隊舞鶴音楽隊演奏会」について

今年度は白瀬隊の南極探検から110年目となります。これを記念して11月12日（土）に海上自衛隊舞鶴音楽隊を招き、仁賀保勤労青少年ホームにおいて演奏会を開催しました。

会場の都合により、アンサンブル形式での演奏会となりましたが、1955年に発足した伝統ある舞鶴音楽隊のすばらしい演奏が披露され、237人が来場しました。

○ 「白瀬南極探検隊親族等交流事業」について

11月26日（土）千葉県船橋市「SHIRASE5002」を会場に白瀬南極探検隊親族等交流会を実施いたします。

2年間にわたり行ってきた探検隊員や後援会幹部などの親族調査の成果を活用し、白瀬矗らの探検の時代から3世代、4世代目になろうとしている親族の方々が一堂に会する機会を設け、お互いに交流することで白瀬隊の記憶と記録を引き継ぐことを目的に行うものです。

○ 「白瀬中尉をしのぶ集い」について

白瀬南極探検隊が大和雪原に到達した日を記念する「白瀬中尉をしのぶ集い」を令和5年1月28日に開催いたします。

今年度は、小・中学校の児童生徒、及び一般の方からも参加していただく予定です。